

問合せ先
第八管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長 島崎 拓美
0773-75-7373(直通)
0773-76-4100(内線 2530)



第八管区海上保安本部
平成19年11月29日

由良川流出河川水の影響域

第八管区海上保安本部では、本年6月から7月にかけて、海浜事故防止の啓蒙活動に資するため、由良川河口付近で人工衛星を利用した漂流ブイ^{*1}による漂流実験を行いました。

漂流ブイの解析結果、河口付近から最初の1時間で最大距離1,700メートル、24時間で約14キロメートル沖合まで流され、また、由良川河川の影響が1,200メートルまで及んでいることが判りました。

- 1 由良川河口付近の平常時における漂流ブイの軌跡
由良川河口付近から5個の漂流ブイを放流した結果、1時間で最大1,700メートル沖合(図1)に流され、24時間で約14キロメートル離れた舞鶴市博奕岬沖まで流された。(図2)
- 2 漂流ブイの軌跡に基づく分析評価
(1) 漂流ブイの軌跡から、流出河川水の影響は河口沖合約1,200メートル付近まで及んでおり、平均流速は0.2~0.5 m/secであることが判った。なお、当時の風向風速は、北~北北西の風、1~2 m/secでした。
(2) 観測期間中に降雨はなかったが、降雨による河川増水時は更に強い流出河川水による流れが発生する恐れがありますので、由良川河口水域におけるマリンレジャーや小型船舶の航行には十分な注意が必要です。

3 その他

今回の調査は、第八管区海上保安本部と京都大学舞鶴水産実験所が由良川沖流況調査の一環として共同で実施したものです。詳細については、八管区ホームページをご覧ください

(^{*}1) 漂流ブイ(オブコムブイ): オブコム衛星通信システムを搭載した漂流ブイで、ブイから送信されたGPSによる位置情報、年月日、時刻など通信ネットワークを経由し、電子メールで受信可能なブイ

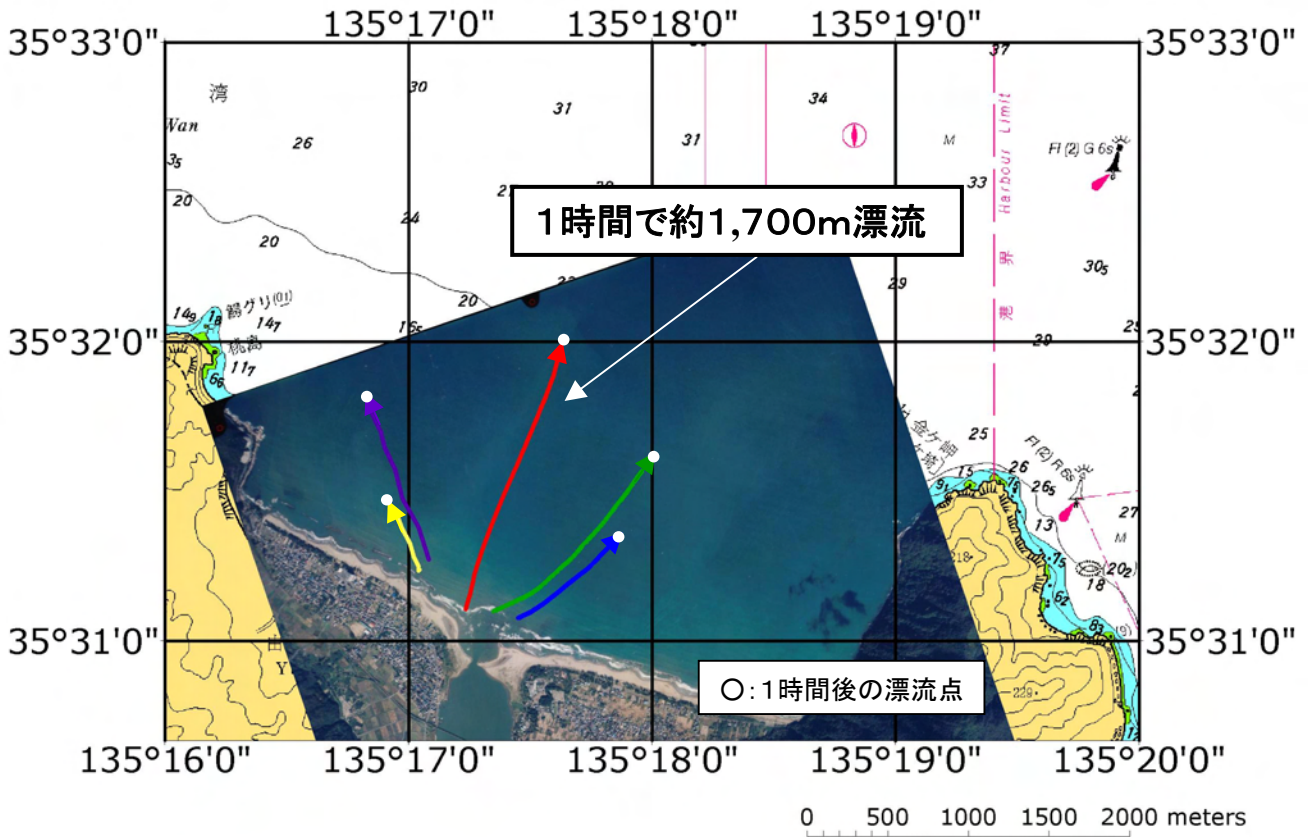
連絡先: 第八管区海上保安本部海洋情報部 海の相談室

電話: 0773-75-7373

メール: kaisy08@jodc.go.jp(海象担当)

流況調査ホームページアドレス

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/sokuho/sokuho_index.html



投入から1時間後の漂流ブイ位置

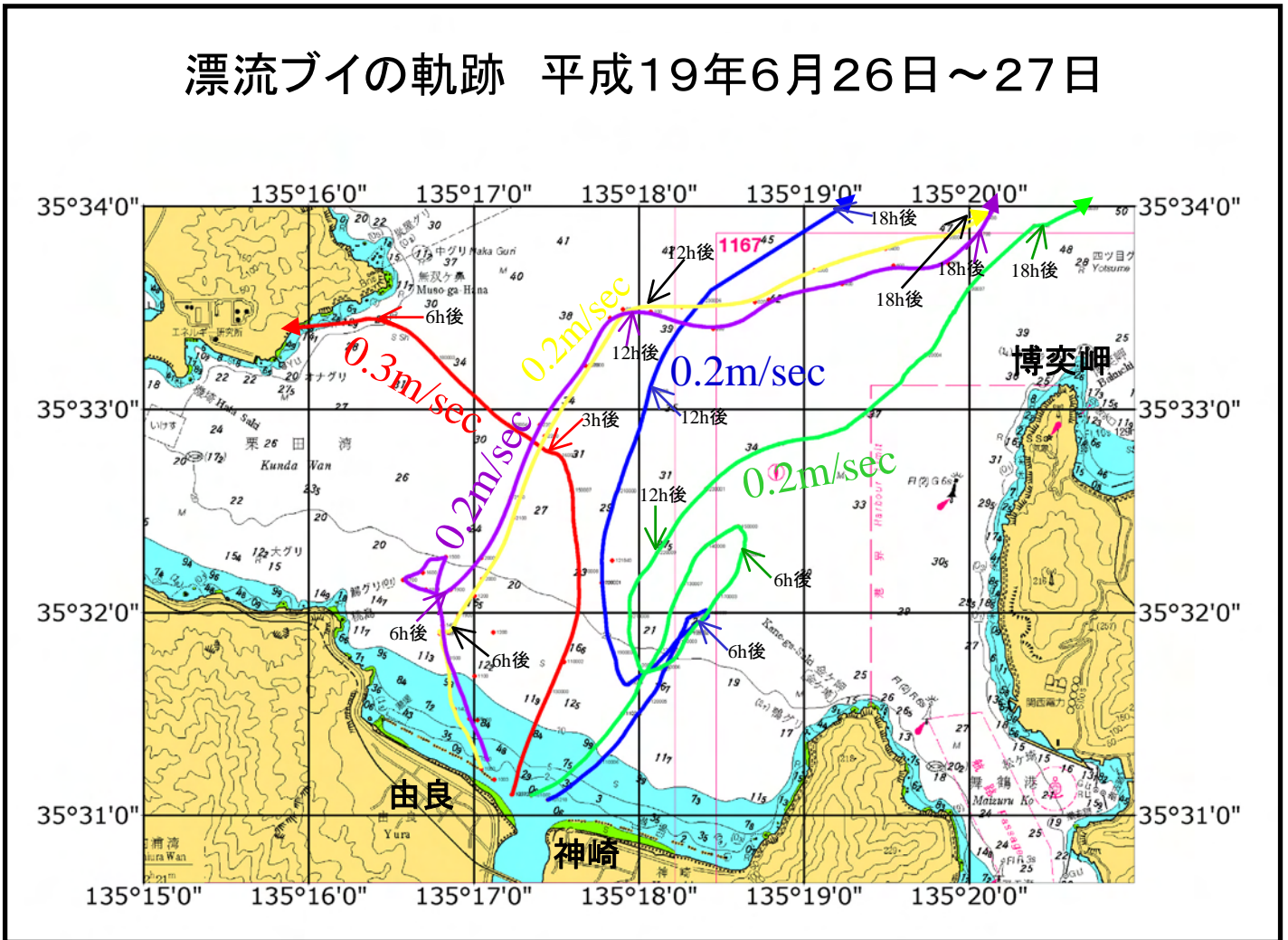


オーブコム漂流ブイ



漂流中のブイ

漂流ブイの軌跡 平成19年6月26日～27日



※図記載の流速は、各漂流ブイの平均流速を示し、時間はブイ投入からの経過時間を表しています。
 ※0.2m/sec＝時速0.72km 0.3m/sec＝時速1.08km